

『実存主義とは何か』

- 人間の自由と責任
  - 自分の人生の意味や目的
    - 自分で見出す役割がある
    - 「実存が本質に先行する」
  - 人間にはもともと本質や運命はない
    - 自分で作るもの
  - 
    - でも不安に向き合うことが大事
    - それにより主体的な人生を歩める
    - 不安かもしれない
- 絶望の先にある希望
  - 自分の人生は、自分で決めなければいけない
    - 自由と責任の重さ
    - かえって深い絶望を感じる
  - でも絶望こそが、真の自由へと導くカギ
  - 
    - 人生の意味を自分で作るようになる
    - ⇒ その結果、主体的に生きることができる
    - 大事なのは、絶望を乗り越えること
- 社会的責任と積極的関与
  - 個人の自由
    - 社会的責任と密接に結びついている
    - 「なにもしない」こと自体も一つの選択になる
    - 結局、社会への責任から逃れることはできない
  - 

    - 社会的責任を持って行動することの大切さ
    - （例）
      - 差別や偏見と戦う
      - 政治的な活動に参加する
    - アンガージュマン